

令和7年度 根岸地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

令和7年度もハッピー根岸を中心として地域福祉を進めて行きたいと考えています。
 地域の高齢化や担い手の高齢化に伴いケアプラザに求められる役割も変化してきていると感じています。地域組織の要望に応えると共に地域福祉の継続の為に住民、担い手の方と一緒に進め方を考えていきます。
 自治会組織のない集合住宅では介入しにくい現状があります。ケアプラザによる見守りを継続するとともに、住民の方による見守りについても検討します。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	R6年度に効果測定の包括レベル地域ケア会議を行った。R6年度は、笑福ホルダーを見て、ケアプラザに連絡をしたという方がいなかった。このことから、持つ人への周知はなされていたが、倒れている人を見つけた人が笑福ホルダーを持っているかもしれないと思えるように、病院や店舗など身近な連携機関に再度周知できるようにする。また、元気なうちに登録している方は多いが、軽度認知症や認知症、障害のある方などが持つということが登録者数に比べ少ない。対象となるであろう方の家族にも周知するようにしていく。
☐	☒	広報誌「こんち」で引き続き、地域の活動を紹介していくことにより、地域の活動を把握しそれを一般住民に紹介する。また、取材の中で気付いた課題について当事者や地域関係機関と共有する。
☐	☒	引き続き「食品配分会」を開催する。 必要な人に必要なものが配分されるよう周知の方法を検討する。 食品等の寄付の募集範囲を広げられるよう情報収集を行う。
☒	☐	皆が等しく情報を得ることができる フェスタでブースを設け根岸地域ケアプラザのQRコードの読み込みのお手伝いをする事で体験者に達成感を味わってもらい、新たな楽しみ・自信につなげることができる。 スマホの操作の初歩的なところは通信会社の支援を依頼することができる
☒	☐	駅前周辺の子育て世代を対象に、根岸中学校コミュニティハウスと共催で0歳～2歳を対象とした講座を開催し、小さいうちに地域とのつながりをつくる。ケアプラザで開催しているほかの事業につなげる。ベビーヨガ、ベビーマッサージ、おはなし会など計7回開催

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

地域福祉保健計画地区別取組みでは議題の調整や記録などを担い、推進会議が円滑に進むように補佐しています。
 子育て支援事業の参加者が減少する傾向があり、ラインを活用して周知したり、地区センター等関係機関と協力して情報提供をしています。また、ヨガのプログラムにより若い方にも運動をする機会を提供することができました。
 相談業務においても民生委員さんや地域関係機関の協力を得て困っている方の発見から相談対応後の見守りなどに協力して頂くことができました。民生委員ケアマネジャー連携会議では高齢になっても地域で暮らしていくためにそれぞれがどのような役割が果たせるかについて話し合い、制度についても学ぶことができました。
 磯子地区での健康フェスタや根岸地区でのフードバンク事業などを通して地域関係機関との連携も強化されました。
 次年度も地域の皆様とのつながりを大事にしてケアプラザとしての事業を進めて行きたいと考えています。

☐ 区からのコメント

第5期地域福祉保健計画の策定では、地域の方や関係団体との連携等をしていただき、円滑に計画を策定することができました。また、各事業においても、積極的に各団体と関係構築を図っていただき、地域福祉保健の増進、活動の担い手育成にもご尽力いただきました。
 人生会議（ACP）講座では、地域住民の参加を促す検討に加え、当事者意識を高めるための丁寧な工夫が見られ、効果的な取組となっています。磯子地区との連携においても、支援者間をはじめ、連合町内会・民生委員・保健活動推進員など多様な主体とのつながりを通じて、着実に地域ネットワークが形成されています。アセスメントに基づく男性参加促進の取組とあわせて、権利擁護に関する制度理解の普及を進めていただきながら、顔の見える支えあいの仕組みづくりをより一層推進いただければ幸いです。